



～市民参加型スマートシティ～
デジタルグリーンシティ

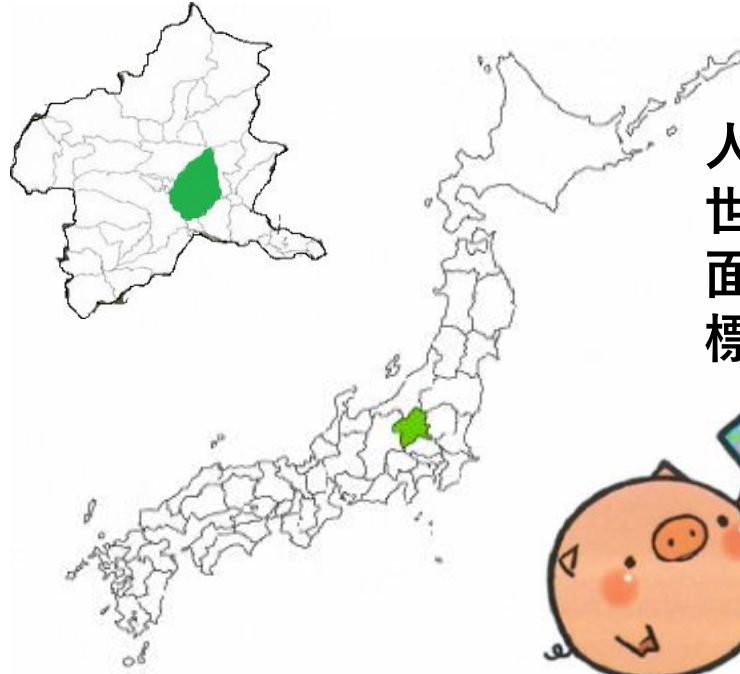
前橋市 副市長 大野 誠司



前橋市のご紹介

日本のほぼ中央に位置する中核市

2022年市制施行130周年



人口 **330,521人**
 世帯数 **154,032世帯**
 面積 **311.59km²**
 標高 **最低64m 最高1,823m**
 関東平野の北端から
 百名山の赤城山



前橋市マスコットキャラクター-ころぼん



2023年4月末現在

日本総合研究所 全47都道府県幸福度ランキング2022年版

健康分野 中核市 **1**位

スローシティ グリーン&リラックス



cittaslow
Maebashi-Akaogi

物価が安い

物価水準



1位

小売物価統計調査（構造）/令和元年 総務省

医療が充実

医師の数

先進医療件数



約 **200** 人 **1** 位

に一人

群馬大学病院の先進医療件数/
前橋市調べ

子育て世代に優しい

子育てしながら
働ける環境がある都市

待機児童



2位 **0** 人

成長可能性都市ランキング2017/
野村総合研究所

保育所等関連状況とりまとめ
令和元年 厚生労働省

め
ぶ
く。



Where good things grow.

その芽は、まだ小さい。

風に吹かれ、雨を待ち、太陽の熱さにその身をあずける。

そしていつか、枝をつけ、葉を繁らせ、

強く太い幹となる日を夢見ている。

人は芽だ。この地は芽だ。そしてつながりは芽だ。

いまは幼い芽だけれど、未来の大樹を隠し持つ芽だ。

Where good things grow.

この地ではじまる、芽ぐみ。

ここから、よきものが伸びてゆく。

いくつもの芽が育ち、やがては大きな森をつくっていきましょう。

Where good things grow.

わたしたちは、この地の芽吹きのために、

未来に希望の森を見るために、

厳しくも優しい風になろう。

慈しみの雨になろう。

そして、なによりも熱い太陽になろう。

Where good things grow.

きっと、芽吹く。

前橋の大地の下にはたくさんの種が、そのときを待っている。

まえばしの共創のまちづくりの経緯

2016 | 太陽の会 発足



2019 | 前橋デザインコミッション 設立



●太陽の鐘 設置

2019 | アーバンデザイン作成



●白井屋ホテル開業

2020 | 先進的まちづくり大賞 受賞



●前橋まちなかまちづくりファンド 設立

2022 | デジタル田園都市国家構想交付金
TYPE-3 & TYPE-2 (群馬県申請) 採択



めぶくグラウンド
株式会社
設立



2023

2023 | デジ田交付金
TYPE-X &
TYPE-3 採択



2022 | 夏のDigi田甲子園
アイデア部門 優勝 めぶくEYE



実装部門 準優勝 マイタク



2016

めぶく。

●民間主導による
まちづくりの
ビジョン制定

10年にわたる共創のまちづくりがめづいてきた

スローシティ
アーバンデザイン
グリーン&リラックス
【リアルの共創】

&

ICTまちづくり
【デジタルの共創】



デジタルグリーンシティ



<まちづくりの方向性>



<まちづくりの指針>

1. まちなかで住み、働く
2. 水や緑の環境でリラックス
3. 徒歩や自転車でもちを回遊
4. 広瀬川や利根川を楽しむ
5. 通りや広場の更なる活用
6. お店の賑わいを外へ
7. 独自の文化を楽しむ
8. ICTや先進技術を活用する

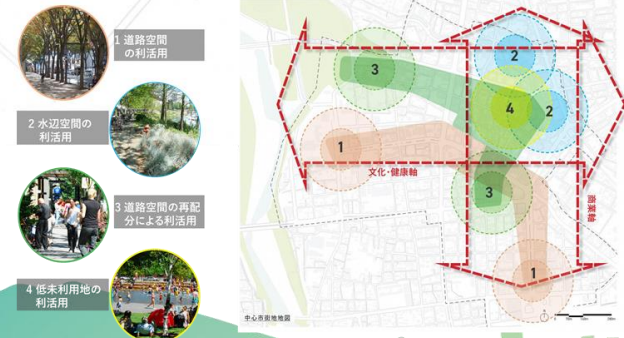
<まちの将来像イメージパース>



<アーバンデザイン・ガイドライン>

項目	内容	留意
A. 都市外の つながり促進	A.1 ネットワーク	都市圏内外をつなぐ
	A.2 駅	駅周辺を活性化
	A.3 駅周辺	駅周辺を活性化
	A.4 駅周辺	駅周辺を活性化
B. 都市上の 賑わいの創出	B.1 商店街	商店街を活性化
	B.2 駅前	駅前を活性化
	B.3 駅前	駅前を活性化
	B.4 駅前	駅前を活性化
C. 中心部 の活性化	C.1 駅前	駅前を活性化
	C.2 駅前	駅前を活性化
	C.3 駅前	駅前を活性化
	C.4 駅前	駅前を活性化
D. まちなか の活性化	D.1 まちなか	まちなかを活性化
	D.2 まちなか	まちなかを活性化
	D.3 まちなか	まちなかを活性化
	D.4 まちなか	まちなかを活性化
E. 都市圏 への対応	E.1 駅前	駅前を活性化
	E.2 駅前	駅前を活性化
	E.3 駅前	駅前を活性化
	E.4 駅前	駅前を活性化

<4つのモデルプロジェクト>



都市再生推進法人

前橋デザインコミッション
アーバンデザイン及び
グリーン&リラックスの推進

MDC

前橋まちづくり公社
公共空間の利活用及び
イベント支援

公社

千代田町中心拠点地区再開発事業 基本構想

民間 行政

リノベーションまちづくり

家守 民間 行政

家守会社設立

くまの家守合同会社

まちづくりファンド

RENOVATION FUND

DONUTS.LLC



本町14地区優良建築物等整備事業 (準備中・住宅・店舗)

アクエル前橋

JR前橋駅北口地区第一種市街地再開発事業 (準備中・住宅・店舗、一時預かり保育事業)

前橋市アーバンデザイン策定区域
市街地総合再生計画重点施策区域

ICTまちづくりの基本思想

- 個人にまつわるデータは、**本人の手元へ**
 - 誰に見せるか、見てもらいたいかな等の**本人の意思を確実に**
- 本人であることを電子的に確実に認証
⇒ **マイナンバーカード活用**

2013年度

前橋ICTしるくプロジェクト

実施団体名	前橋市、NPO法人首都機能バックアップ推進協議会、前橋工科大、前橋商工会議所、九州大学
実施地域	群馬県前橋市
実施期間	平成25年9月～平成26年3月
事業概要	社会情報認証基盤と共通IDによるICカードを活用し、前橋マイページ、母子健康ポータル、ICTまちなかキャンパス、サービスを市民に提供する。これにより、前橋市の特性である充実した教育環境と全国有数の医療環境をさらに高める。
実証結果	前橋マイページではサービスを「継続すべき」「改良して継続すべき」「対象を拡大すべき」という評価が母子健康ポータルでは同様の評価が98%、ICTまちなかキャンパスでは1枚のカードで様々なサービスを受けることについて、無回答を除く70%以上の人が「便利だ」と回答した。

母子健康ポータル

妊婦さん～小学生までの健康管理情報をサーバ上に一元管理

- 健康診断管理
- 成長記録グラフ
- 予防接種
- 日記機能
- おくすり手帳

前橋マイページ

市民一人一人に設けられる市民ページ

- 基本機能
 - 学校関連
 - 行事スケジュール
 - 時間割表の閲覧・確認
 - 給食情報、アレルギーアラート
 - 学級通信・学年通信
 - 電子校メールなど
- 市民向けツール
 - バス位置情報サービス

ICTまちなかキャンパス

市民講座をICTで管理、発展的活用

- 講座管理・受講管理
- ウェブ講座
- デジタルアーカイブ
- ポイントシステム

2014年度

提案者	前橋市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、吉岡町、榛東村、前橋市医師会、前橋市歯科医師会、前橋市薬剤師会、前橋商工会議所、前橋工科大学、NPO法人首都機能バックアップ推進協議会
実施地域	前橋市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、吉岡町、榛東村
事業概要	地域プラットフォーム上で「健康情報ポータル」を運用。健康情報を集約し、マイナンバーカード・共通ID・個人認証を軸とした情報連携。認証機能等により本人認証を証した上で、市民や医療関係者等の参加者が情報を参照する仕組み

健康情報ポータル

共通ID・個人認証を軸とした情報連携

情報センター 認証機関

自治体 医療機関

母子健康情報サービス

電子お薬手帳

緊急時利用

バイタル情報活用

多目的利用

○カードの多目的利用のために条例を整理 ○地域協議会を組織し、地域間で

2015年度

平成26年度補正予算 総務省「まち・ひと・しごと創生推進事業」

ICTしるくプロジェクト

実施団体	一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構
実施地域	群馬県内主要自治体、県外複数自治体
事業概要	医療・健康を主テーマとして実施されてきた「ICTしるくプロジェクト」の成果に基づき、一般社団法人にてそのサービス・運用をクラウド化・パッケージ化し、群馬県内を始め、多くの自治体、医療機関が実導入できるような体制を構築すると共に、実利用のフィールドを広げる。

共通プラットフォーム

サービスをクラウド化・パッケージ化

他地域展開

マイナンバーカード

JPKI認証機能の提供

空き領域活用APPの提供

サーバ・DB

JPKI認証

母子健康情報サービス

- 自治体保有データの連携
- 成長記録の入力・グラフ表示
- 予防接種管理、記録機能
- 各種子育て情報、日記、初めて記念日
- 電子お薬手帳機能、バイタル情報記録機能
- 医療機関の間連携システム連携等

医療連携

- 医療機関間のデータ共有 (CT、MRI、検査結果等)
- 患者の共通ID管理
- 閲覧権限管理機能

その他

- 緊急時利用
- 空き領域活用サービス

子育て支援の充実 自治体 医療機関 地域医療の効率化

母子健康情報から始まるPHR

- 乳幼児健診や予防接種のデータ連携
- 自治体情報配信
- お母さんのお楽しみ機能
- 情報共有機能



公共交通利用支援（マイタク）

- タクシー車内のマイナンバーカードをタッチするだけで運賃割適用
- 運行データを分析し交通政策に活用
- 外出の目的である“通院”“買い物”の支援
- AI、自動運転との連携



健康保険証・診察券のワンカード化

- マイナンバーカードで診察受付
- 将来的にはオンラインで保険資格の確認



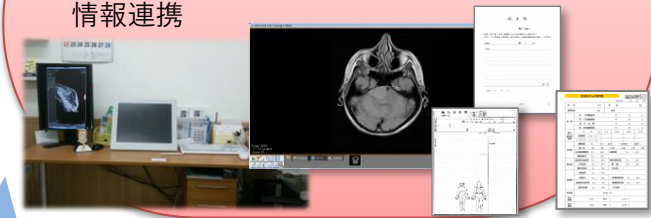
救急時利用

- 本人が意識をなくしてしまっても、救急時に必要な情報を救急隊に提供（既往歴、連絡先、アレルギー等）
- 救急隊は搬送先に情報を事前送付
- 5Gとの連携でさらに高度化



病院・診療所の画像連携

- 患者はマイナンバーカードの本人認証を用い医療機関間で情報共有
- CTやMRI、検査結果などを画像として情報連携



バイタル情報・お薬情報

- 日々のバイタル情報をマイナンバーカードに紐づけて保存、閲覧
- 電子お薬情報もマイナンバーカード連携で情報紐づけ



災害対策

- 避難所にてマイナンバーカードでチェックイン、避難者リストを瞬時に作成
- 避難確認を家族にて共有
- 災害に強い前橋市は5Gを用いさらに避難者受け入れの高度化を



多目的利用・交付支援

- 郵便局でのマイナンバーカードの交付支援
- マイキープラットフォームと連携した前橋ポイントの活用
- マイナポ、マイナポAPIの活用



10年にわたる共創のまちづくりがめづいてきた

スローシティ
アーバンデザイン
グリーン&リラックス
【リアルの共創】

&

ICTまちづくり
【デジタルの共創】



デジタルグリーンシティ



Digital Green Cityとは
デジタルのちからによって
グリーン＝サステイナブルな社会を創る
市民参加型スマートシティの市民呼称
青いどんぐりは共助のシンボルです。



一人ひとりのリアルの充実・幸せ（Well-beingの向上）に
まえばしを ●●しつづけたいまちに



「グリーン&リラックス」 「スロー」

× 「デジタル」という土台をうまく使っていこう

大野的まちづくりにおけるDX（ゼロからのまちづくりが、もはやほぼできないなかで）

◆ **いまの資源を見つめなおす**

◆ その価値を(再)評価・定義する

◆ 価値を高めて(再)実装する

デジタル技術で
価値・効果が増すなら使う

まえばしを●●しつづけたいまちに ≡ 地域交通の再構築

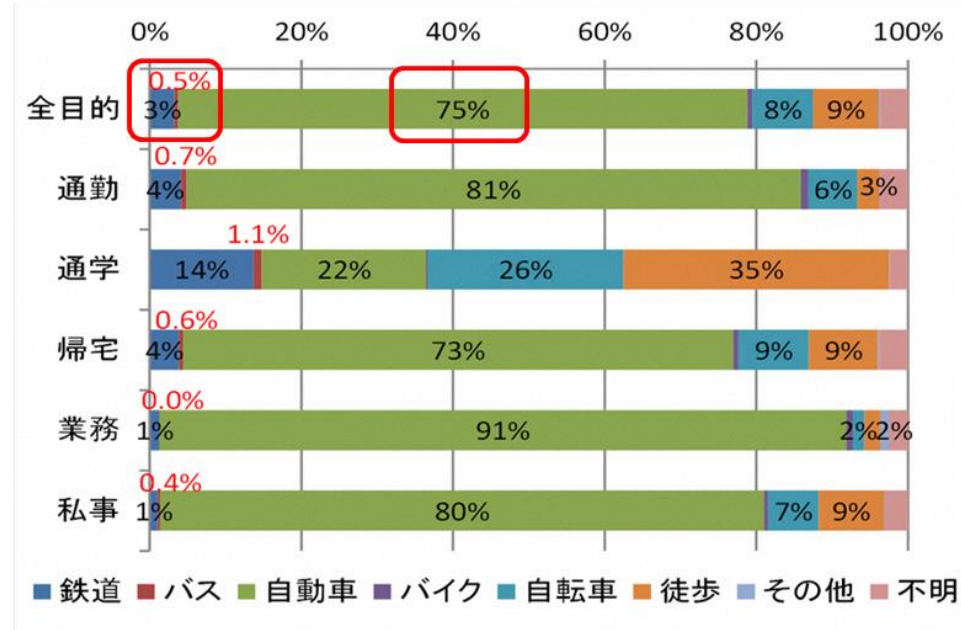
移動手段の現状・特徴

- ▶ 自家用車依存 (車75%、鉄道・バス3.5%)
- ▶ 自家用車保有率全国4位 (R3群馬県)

自家用乗用車の世帯あたり普及台数

順位	都道府県	世帯あたり普及台数
1	福井県	1.715
2	富山県	1.660
3	山形県	1.654
4	群馬県	1.602
5	栃木県	1.581
6	長野県	1.567
7	茨城県	1.565
8	岐阜県	1.553
9	福島県	1.543
10	山梨県	1.532
全国		1.037

(一財)自動車検査登録情報協会



100m未満の移動にも
4人に1人が車を使う

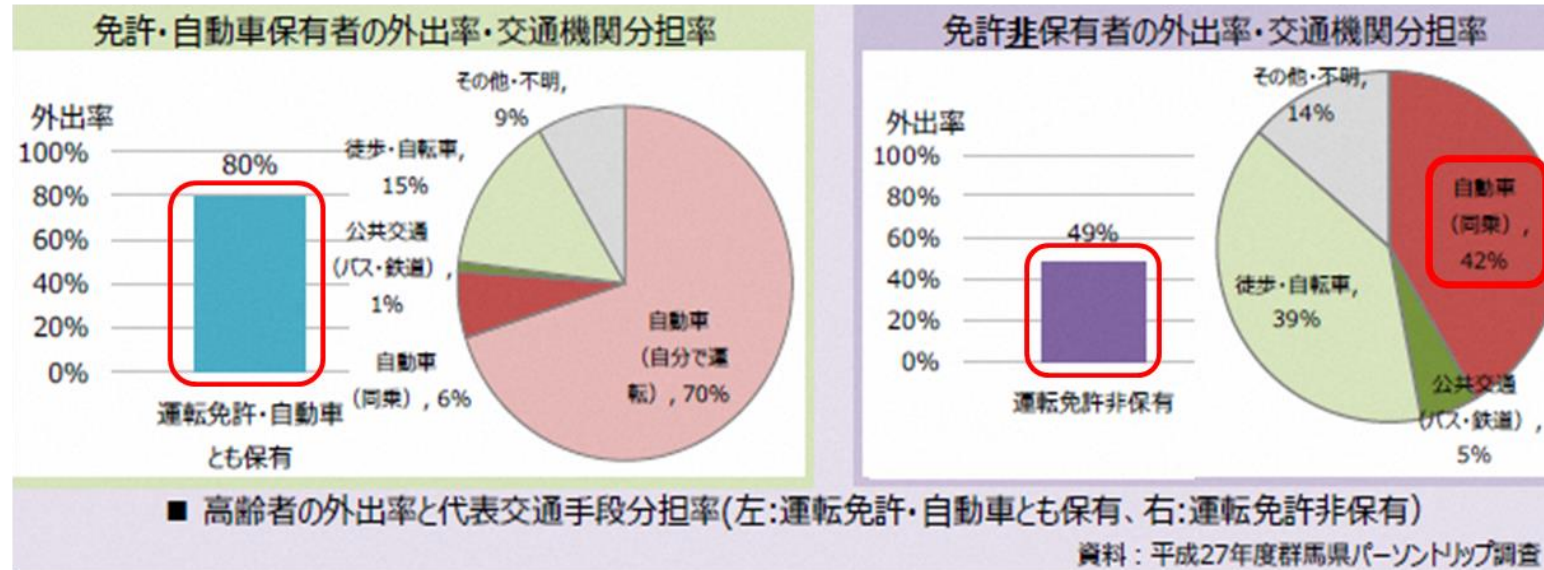
R2 中核市水準調査60市

世帯あたり自家用車保有台数 **2位**
人口あたり乗合バス利用者数 **57位**

国勢調査の結果 (通勤・通学者の交通手段) を分析すると、通勤・通学における公共交通利用割合が他市に比べ極端に低い。

車依存の社会

- ▶ 免許非保有者の外出率が低い（免許有80%→免許無し49%）
- ▶ 送迎者の負担が大きい



▶ 中高生の交通事故件数が非常に高くなっている

2022年通学時1万人あたりの自転車事故件数	1位	2位	3位
高校生	群馬 93.63件	静岡 56.67件	徳島 43.27件
中学生	群馬 32.03件	香川 16.30件	佐賀 13.07件

交通分野への家計支出(人口規模別)

出展：2019年家計調査(二人以上世帯)

(円)	合計	公共交通 運賃等	自家用車 維持・利用
政令指定都市／東京都区部	226,125	72,800	153,325
人口15万以上の都市	249,243	52,536	196,707
人口5万以上15万未満の市	268,379	45,911	222,468
人口5万未満の市／町村	286,289	29,065	257,224

家族の送迎(子育て世代(こども3人)の例)

高齢の父母の病院・施設送迎が加わったら??

	月	火	水	木	金	土	日
午前	パート					①部活	
午後			③習い事		③習い事		
夕方～夜	②習い事	②塾	①塾	②習い事	①塾	①塾	

※ゲリラ豪雨など突発的な送迎も

家計にも時間にも余裕がなくなる
若年層の居住地観への影響(結婚観へも...)

まえばしを●●しつづけたいまちに 都市インフラとしての**地域交通の再構築**

交通モードを超えた1つの融合サービス

～ どれかに乗る から どれでも乗れる 交通社会へ～

GunMaas
INNOVATE YOUR TRIPS

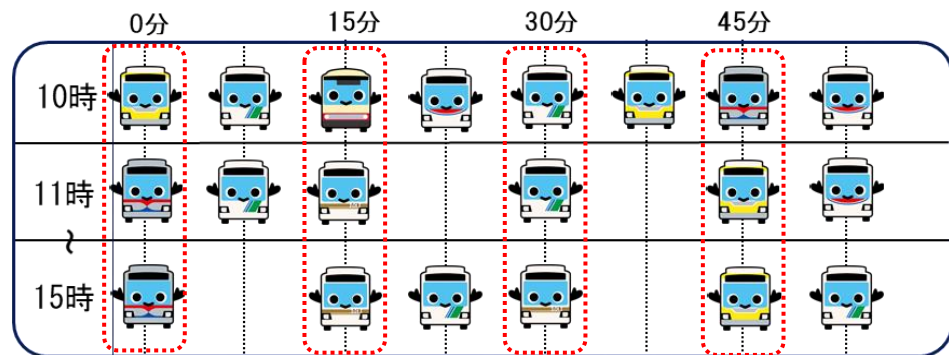
- ✓ 従来のバス・鉄道・タクシーなど個々バラバラの交通サービスではなく、スマホ1つでどれでも利用できる**定額パッケージ**。
- ✓ 利便性に応じた**料金体系**を利用者が選ぶ。
- ✓ 個人認証の仕組みを取り込むことで、行政・民間を問わず、**目的地の各種サービス**（お出かけの楽しさ）**とも連動**。
- ✓ コンソーシアムを形成し、**共同的な運営**により、**データ共有や利益分配できる仕組み**を構築。



都市インフラとしての地域交通の再構築

本町ライン 等間隔運行(共同経営)

R4.4.1～ 日中でも15分間隔で必ずいずれかが運行(6社11路線)



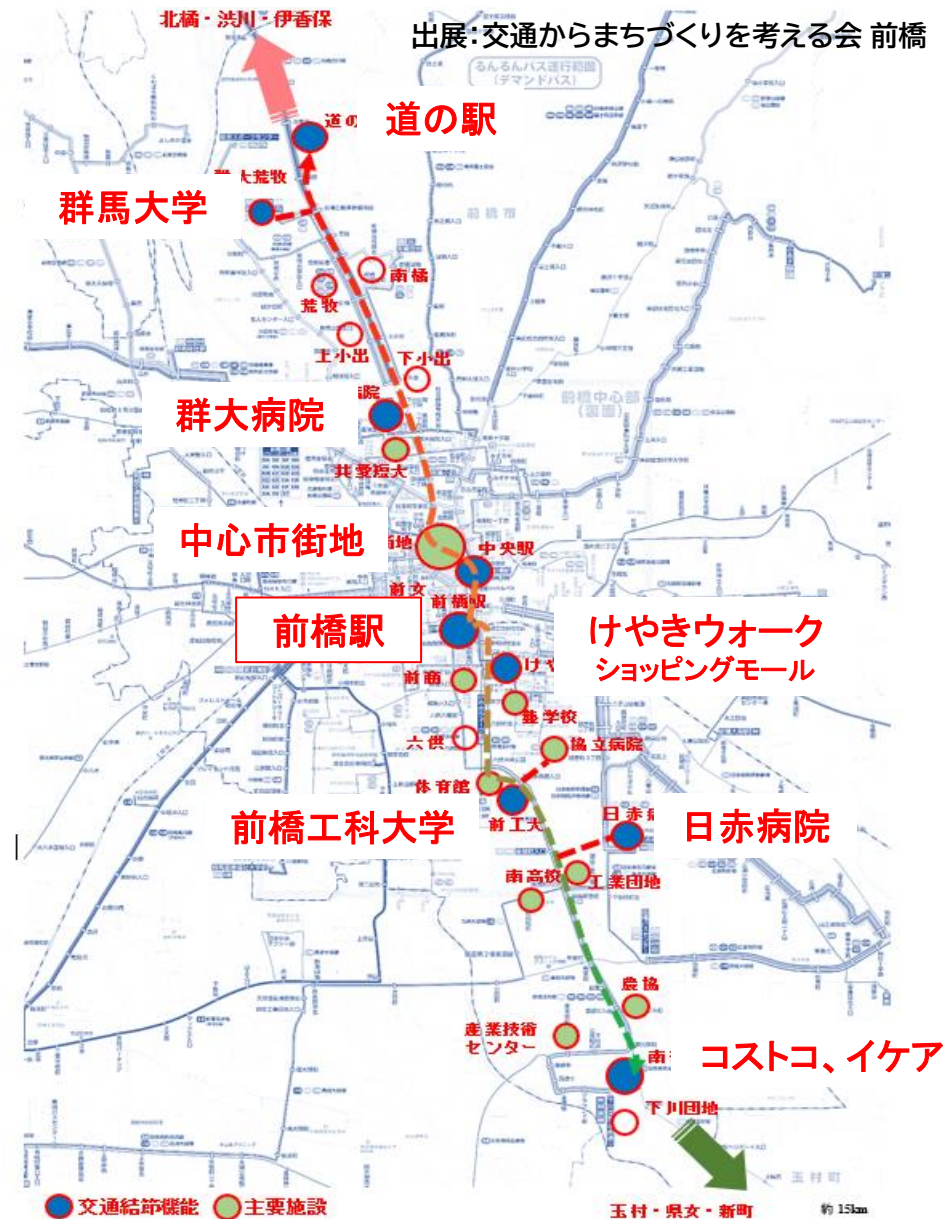
コロナ前を超える乗車数を達成

県庁・市役所
国庁舎・裁判所等

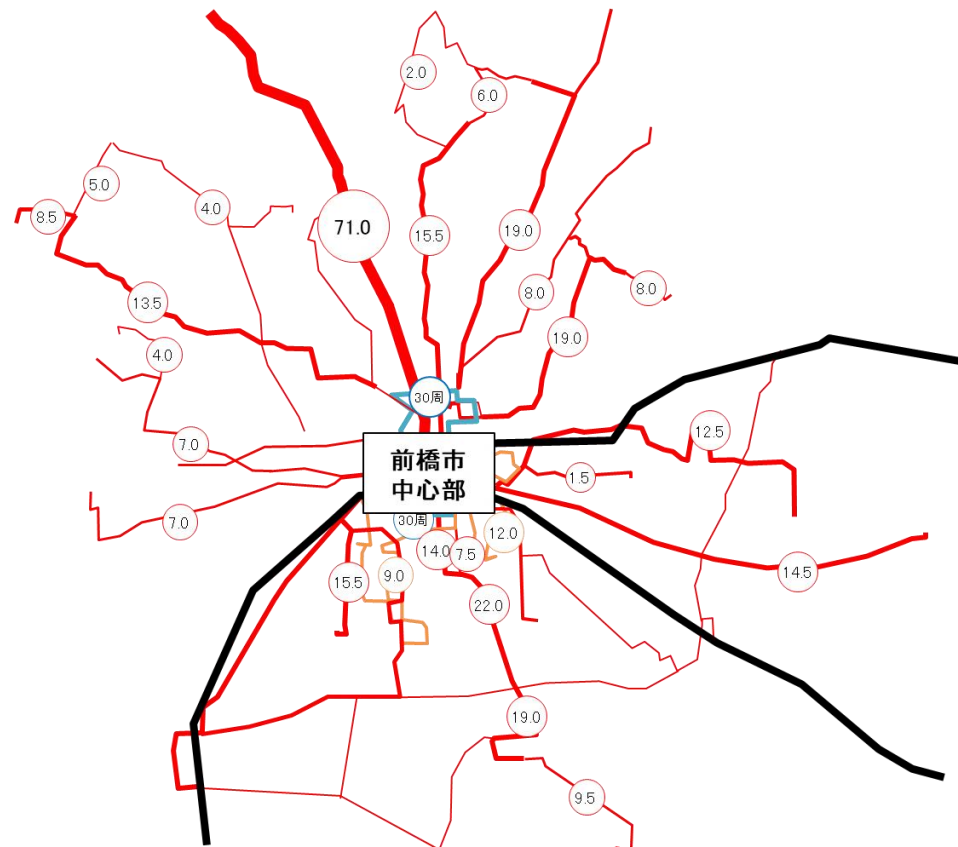


南北幹線構想 -都市の背骨の形成-

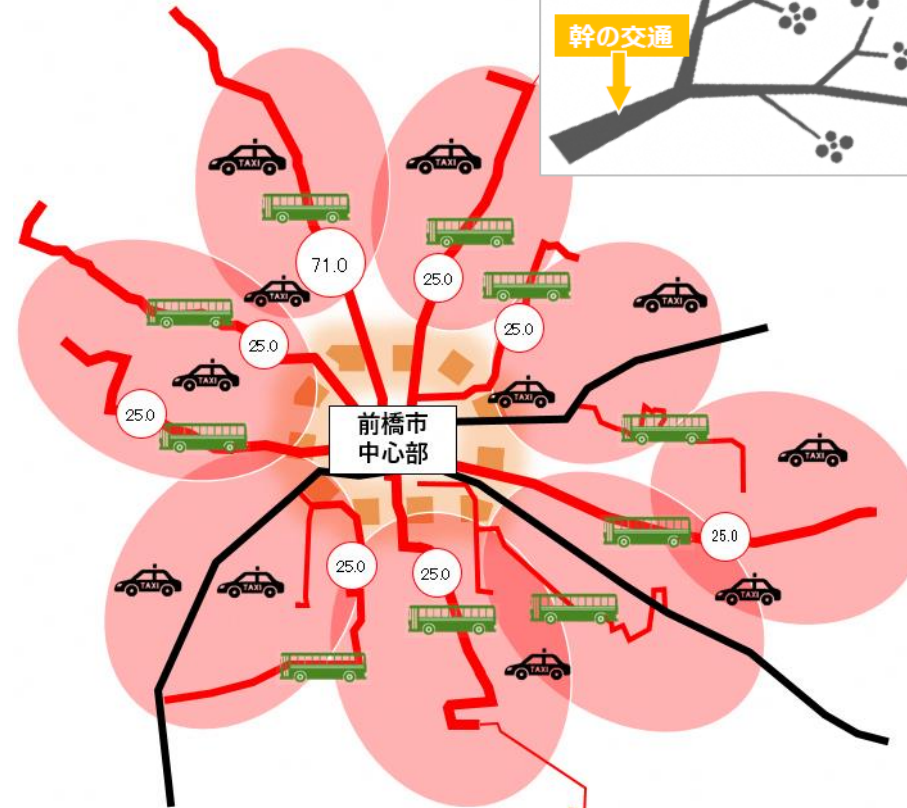
出展:交通からまちづくりを考える会 前橋



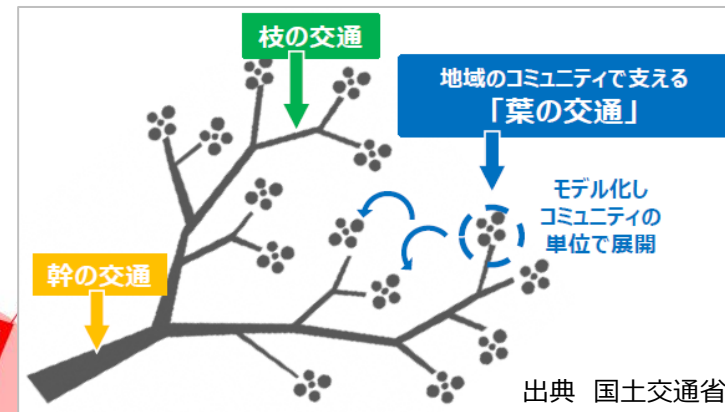
都市インフラとしての地域交通の再構築



現 状



今 後



- 幹線軸の明確化やニーズに応じた交通体系
- バス(枝)だけでなく、タクシー等(葉)との連携
- 将来的な共同経営も

データを活用して再編を行っていく

◆相互の信頼（with Trust）と良質なデータにより

✓ つながる（老若男女・市域にとらわれないe-市民や共助者・賛同者と）

✓ じぶんとまわりの**今がわかる**

✓ じぶんごとになる

✓ **未来をかたりあう**

✓ 想いをつなぐ

◆ 様々な主体の参画・つながりで

✓ **人が情報がアイデアが集まってくる**

✓ **ビジネスが生まれる、変わる**

✓ **生活もまちも変わる**

一人ひとりのリアルな**充実・幸せ**（Well-beingの向上）に
まえばしを ●●しつづけたいまちに

デジタル市民権

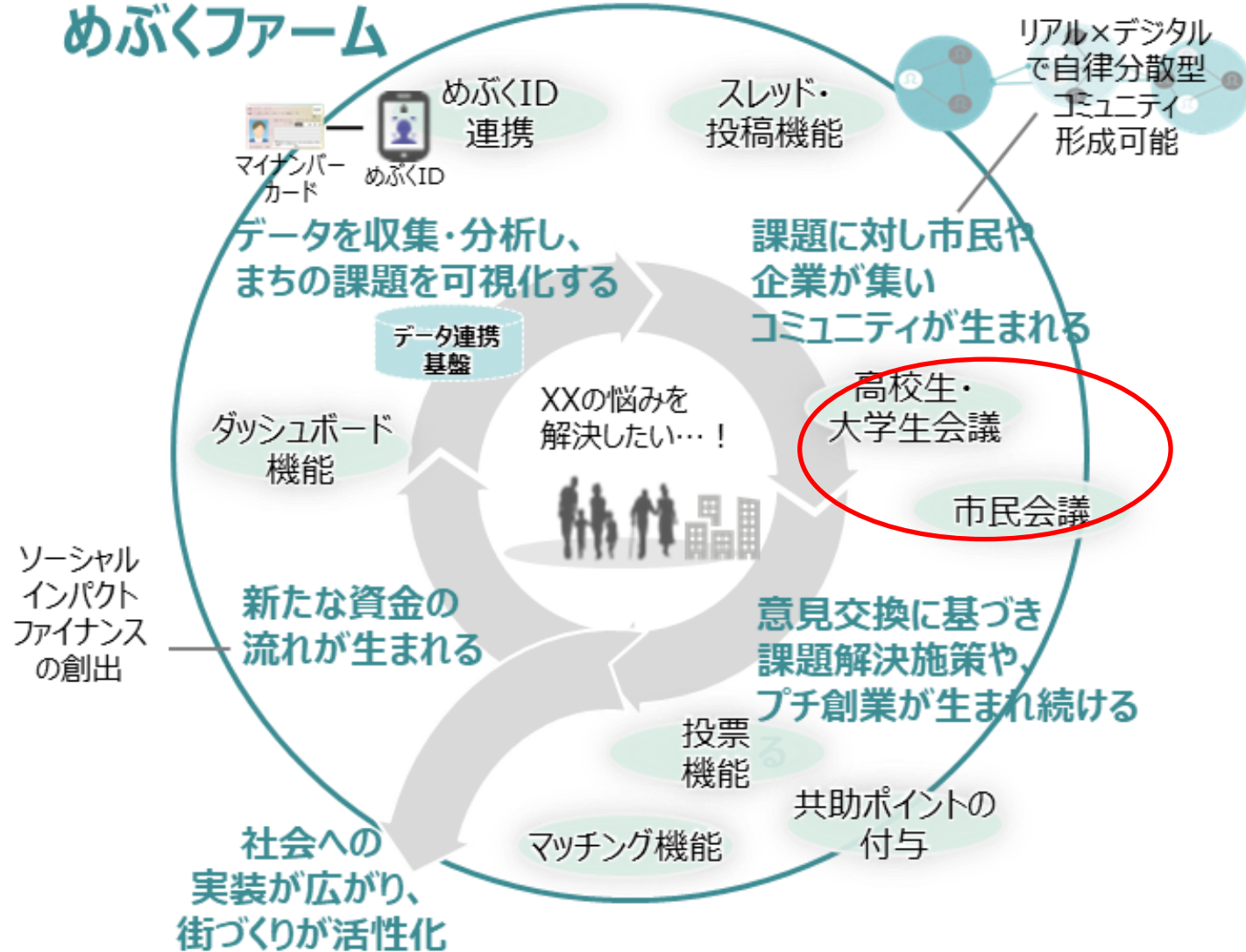
- ・ **いつでもどこでもまちづくりに参加できる**
(自分の意思を反映できる)
- ・ **未来型の民主主義を実現するための
新しいコミュニケーションプラットフォーム**
(多くの市民が集い意見を交わすことが難しい
物理的な制約からの解放)

 **時空間からの解放**

めぶくファーム (R5年度)

だれでも自由にまちづくりに参画できる、自律分散型コミュニティを形成

めぶくファーム



- 地域の交流を活性化させるコミュニティアプリ
- 様々な人たちが参画して、リアル・デジタル双方で議論や課題解決につなげる場を提供



「めぶくファーム」でできること

2024年2月リリース予定！



新たなコミュニティの
発見



議論したいトピックや
募集情報の投稿



議論・投票結果の表示



R4年度 まえばし暮らしテック推進事業

ポータル

グッドグロウまえばし

利用者の興味や関心に合わせた情報を提供



学び・子育て

メブクラスまえばし

興味・志向に合った学びを受けられる



my Allergy alert

アレルギー情報を給食献立変更等に連携



OYACoplus

育児や検診記録の連携、子育てのチャット相談



Wonder Watch
U-GREEN walk

寄り道街歩きや、植物や昆虫を調査しながら自然を学ぶ



高齢者支援

デジタルツイン
安全スコアリング

バーチャル前橋をドライブし、運転評価を行う



家電情報による暮らし見守りサポート

家電情報による暮らし見守りサポート



ツナグすぽっと

リモートで人と人がつながる、顔の見える相談窓口



情報提供の管理

提供元アプリ



ダイナミックオプトイン

めぶくアプリ
(BOOKFES)

共助

共助ポイントを通じた、文化・地域活動活性化



めぶくアプリ
(助け合い掲示板)

サポートを必要とする「ありが隊」とサポートしたい人「助け隊」をマッチング



めぶくID&データ連携基盤

めぶくグラウンド（株）が管理・運用
(市民の利益を優先する考え方を徹底)



概要、アプリDLはこちら



前橋の新しいキャッシュレス決済サービス

めぶく Pay

12月20日（水） サービス開始！

- めぶくID（又はマイナンバーカード）を用いた安心安全な新しい電子地域通貨
- 行政からのポイント（めぶくポイント）や各種公的給付金の受取が可能*
- 「まえばし市民プレミアムキャンペーン」で最大11,500ポイントプレゼント

*令和5年度は出産・子育て応援給付金を予定しています(2024年1月開始予定)

めぶくPayが目指す未来のイメージ

9:00

今日は朝から公園掃除のボランティア。
めぶくアプリでボランティア活動を記録すると、ささやかなポイントのプレゼントが。



12:00

めぶくPayクーポンを使っていつもよりちょっと豪華ランチをお得に。

COUPON



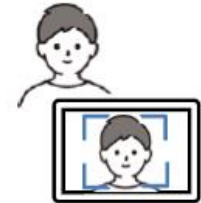
15:00

めぶくアプリが教えてくれた、近くの音楽イベント情報に参加。
イベント参加料、イベント物販の支払は、めぶくアプリでワンクリック！

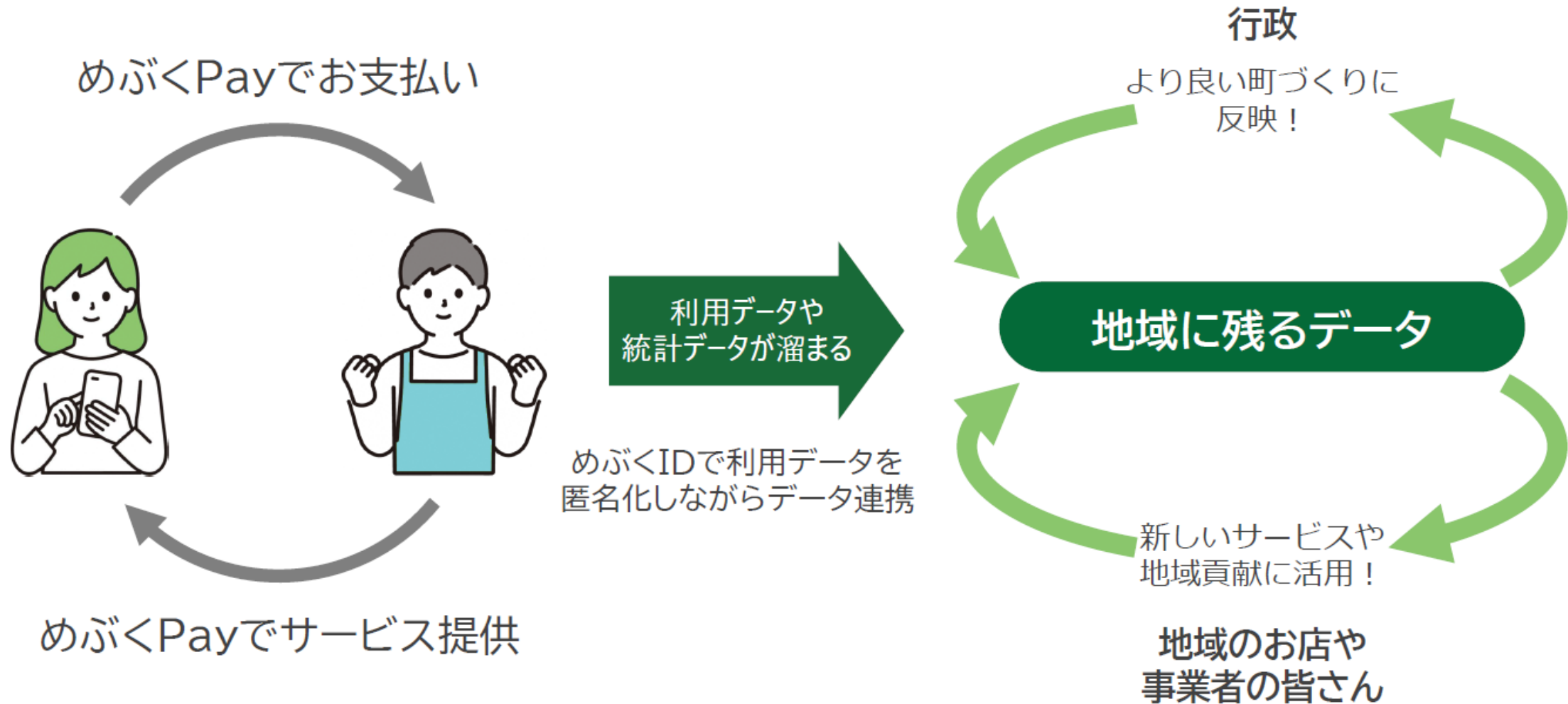


18:00

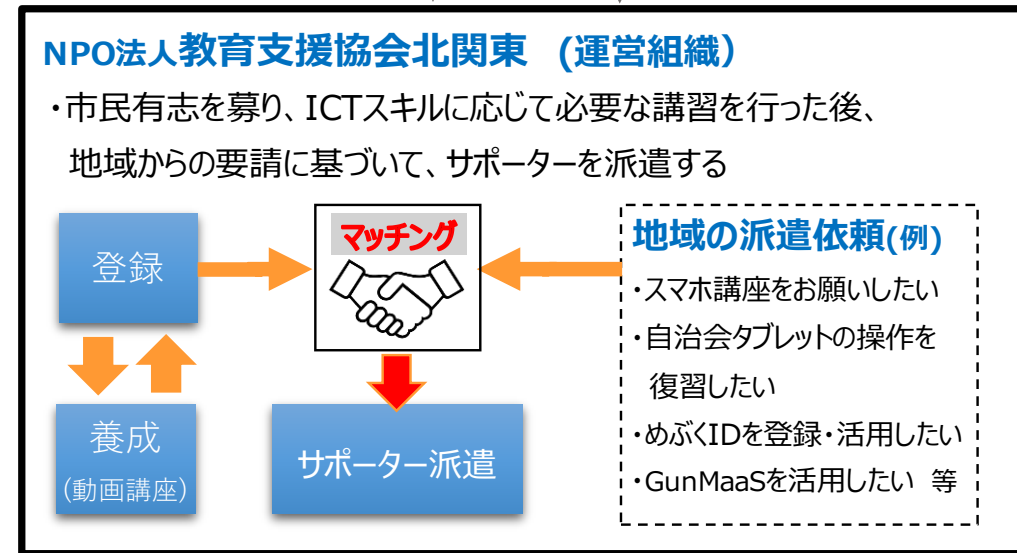
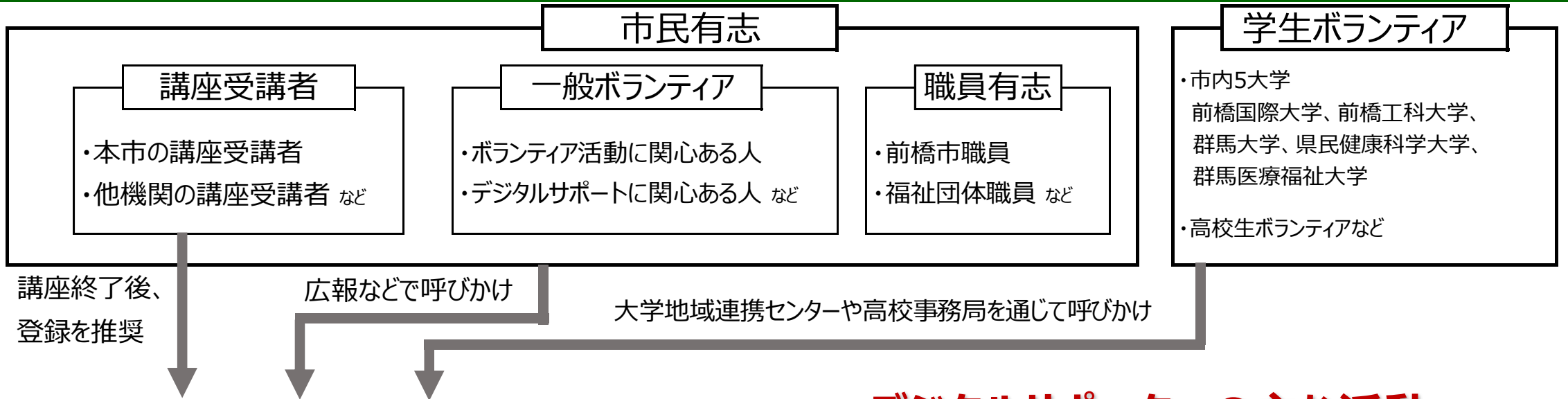
予約していたレストランへ。
予約確認もお支払いも顔認証でサクッと決済



めぶくPayの利用データ(匿名)は、 まちの暮らしへ還元します



まえばしデジタルサポーター



デジタルサポーターの主な活動

地域住民3人以上で行う学習会に、サポーターを無料派遣する「①講習会サポート」と定時×定点で相談拠点を設置し、市民の小さな困りごとを解消する「②デジタルよろず相談所」の2事業を中心に、事業展開する予定です。



地域のスマホ講座



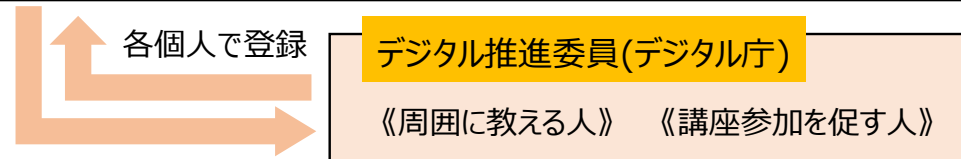
自治会タブレット支援



デジタルよろず相談所

①講習会サポート

②よろず相談所



デジタル活用に向けた多層的な取り組み

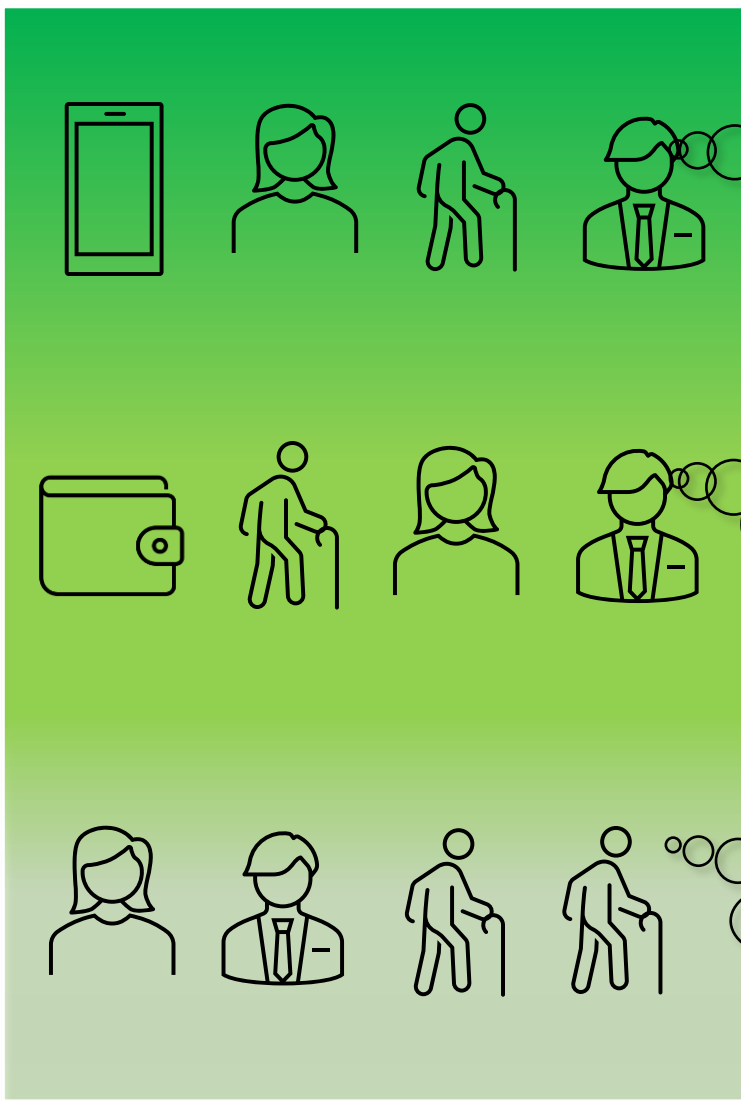
住民のデジタルスキルは個人差が大きい（実態）

多種多様な住民ニーズがある

多様な支援団体の存在



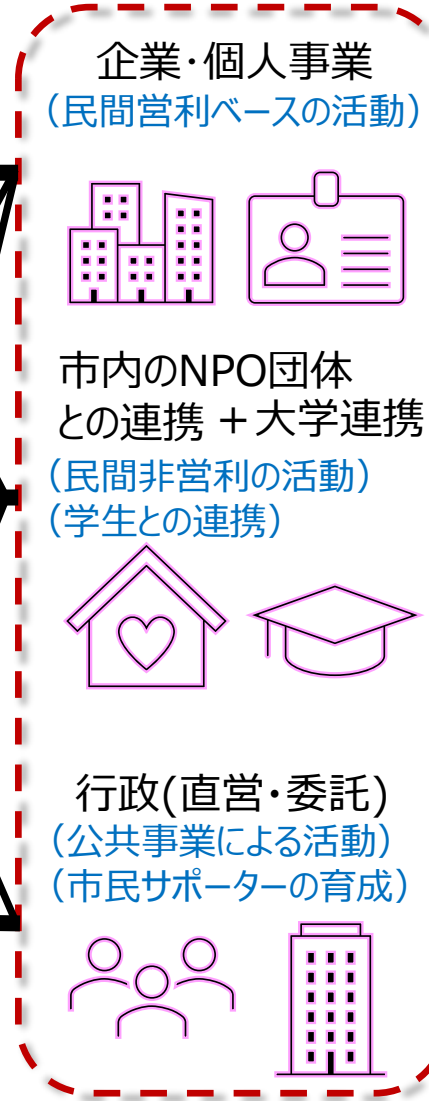
高
デジタルスキル
低



デジタル技術を駆使して余剰時間を生み出し、より快適なスローライフを追求したい

スマホの各種機能や便利なアプリを活用して、より快適に過ごしたい

スマホの基本的な機能や操作方法を一から学びたい

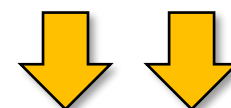


《当面の活動》

市内NPO団体や企業の情報収集 (得意分野 & 対象者)



関係者・団体による連携関係の構築



《Mデジ関係》

- STEP① サポーターの育成
- STEP② 各地域への派遣
- STEP③ **地域密着型サポーターの誕生・活躍**

